



望洋台小だより



学校 HP

R8. 3. 24 No.12

(通算 591 号)

<学校の教育目標>

- 自ら考え工夫する子
- 思いやりのある優しい子
- 進んで行動しやりぬく子
- 明るく健康な子
- 協力し働く子

自分の成長を自分で感じて・・・
～さらなる成長への第一歩～

校長 脇本 麻友美

3月19日(木)、暖かな陽ざしがふりそそぐなか第42回卒業式が挙行され、36名の卒業生が望洋台小学校を巣立っていきました。卒業生による「呼びかけ」では、小学校生活の思い出や支えてくれた人達への感謝の気持ちを一人一人が思いを込めて発表しました。呼びかけの最後には卒業生による式歌「Best Friend」のきれいな歌声が会場に響き渡り、温かな雰囲気にも包まれた卒業式となりました。ご出席いただきました皆様方に心より感謝を申し上げます。

式辞の中でも話しましたが、卒業生は学校生活の様々な場面で全校児童の良き手本となる頼もしい存在でした。最後の授業である卒業式にも、しっかりとした姿で臨み、目指すべき「卒業生」としての姿を残してくれました。

小学校の卒業という、人生の大きな節目となるこの日を忘れず、誰よりも成長を喜び陰で支えてくれた家族、そして関わってくれた多くの方々への「感謝の気持ち」を大切に、中学校でのさらなる活躍を願っています。



さて、早いもので令和7年度の締めくくりの時を迎えました。この一年間で、子ども達は様々な活動を通し、確実に成長してきました。修了式で各学級の代表の児童に修了証書を手渡ししながら、各種行事はもちろんのこと、日々の授業など様々な場面で頑張っている子ども達の姿が思い出されるとともに、今年度の4月の姿を思い出し改めて一年間の成長を感じました。修了式の中で子ども達に「この一年間を振り返り、自分の成長を自分で感じてください。」という内容の話をしました。身長や体重など目に見える成長はイメージしやすいですが、その一方で、感じ方や〇〇が出来るようになった等「内面的な成長」については、幼い子どもにとっては、自分の成長を自分で感じるのは、まだ難しい事かもしれません。しかし、自分の頑張りを認められ、そして自分で自分の成長を実感できることは、さらなる成長への第一歩となると思います。本日持ち帰った「通知表」をお子さんと一緒にご覧いただき、一年間の頑張りを認め・褒め・励ますとともに、ぜひ「内面的な成長」をお子さんに言葉で伝えてあげてください。お子さんの成長を家族で喜び合う温かな時間を過ごしていただけると幸いです。

最後になりますが、保護者の皆様、地域の皆様、この一年間、本校の教育活動の推進にあたり、ご理解と大きなお力添えをいただきましたことに、心より感謝を申し上げますとともに、深くお礼を申し上げます。ありがとうございました。令和8年度も変わらぬご支援・ご協力を、よろしくお願いたします。

～1年間ありがとうございました～

今年度最後の「がらがらどん」の皆さんによる読み聞かせが、3月18日（水）にありました。

いつも子どもたちが目を輝かせて聞き入る姿が来年度も見られることを楽しみにしております。

がらがらどんの皆様、1年間ありがとうございました。これからも変わらぬ読み聞かせをどうぞよろしくお願いいたします。

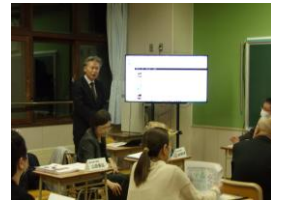


第4回学校運営協議会がありました

3月3日（火）、望洋台中学校にて第4回学校運営協議会が開催されました。会では、望洋台小学校・中学校の校長より今年度の教育活動の振り返りが行われ、1年間の取組や児童生徒の様子について説明がありました。

続いて、各学校がまとめた「1年間の成果と課題」について、その評価が妥当であるか、また今後どのような改善策を講じていくべきかについて協議が行われました。地域と学校が共に子どもたちの成長を支えるため、活発な意見交換が交わされました。

最後に、次年度に向けて、地域と学校が一層連携し、よりよい教育活動の実現を目指して協力していくことを確認し、会を終了しました。



～離任する教職員からの挨拶～

山田 晃弘 教頭 ～4月から花園小学校へ～

3年間、望洋台小学校で教頭として勤務する中で、子どもたちの明るさと元気に大いに支えられ、毎日が学びと気づきの連続でした。保護者の皆様、地域の皆様からは、温かくやさしいお声掛けをいただき、心より感謝申し上げます。皆様のお力添えがあったからこそ、安心して子どもたちの成長を見守ることができました。ここで得た経験を糧に、新しい学校でも「緊張感」をもって、学校のために精一杯業務に励んでまいります。これまで本当にありがとうございました。

藪田 三穂子 教諭 ～4月から稲穂小学校へ～

6年間、大変お世話になりました。望洋台小学校の子ども達と過ごした日々はかけがいのない宝物です。ここ数年は、市内の学校を回っていたため、毎日子ども達に会うことはできませんでしたが、望洋台小学校に帰ってくる度、子ども達の元気な挨拶と笑顔に力をもらいました。望洋台地区は、公私ともに思いが深い町でもあります。子ども達はもちろん、保護者の皆様や地域の方々にも感謝の気持ちでいっぱいです。これからは望洋台小学校と、望洋台という町が幸せな場所であるよう願っています。本当にありがとうございました。

奥村 陽葉 教諭 ～4月から花園小学校へ～

2年間大変お世話になりました。望洋台小学校で過ごした2年間は、自分の人生の中でもかけがえのない時間です。子どもたちや保護者の皆様、地域の皆様から多くのことを学ばせていただき、支えていただいたことに心より感謝申し上げます。望洋台小学校で経験したことを糧に、今後さらに精進いたします。これからは子どもたちのより一層の成長と活躍を祈っています。ありがとうございました。

佐々木 美智子 教諭 ～4月から幸小学校へ～

1年間という短い間でしたが大変お世話になりました。特別支援学級のフリーとしていろいろな学級に入る機会がありましたが、どのクラスも子どもたちが元気に毎日を過ごす姿がみられ、声をかけてくれる子どもたくさんいて、とても楽しい日々でした。保護者のみなさまの様々な場面でのご協力にも感謝いたします。みなさま、どうぞお元気で！ありがとうございました。

藤平 かおり 事務職員 ～4月から桜小学校へ～

6年間大変お世話になりました。6年前に赴任した時はコロナ流行のため、子どもたちや教職員もマスク生活で不安な日々もありましたが、事務職員として望洋台小学校で過ごした期間は私にとって、とても貴重なものとなりました。今までありがとうございました。

渡辺 誠二 用務員 ～ご退職～

約2ヶ月の短い期間でしたが、大変お世話になりました。在職中は子どもたちの元気な挨拶や笑顔にたくさん元気をもらいました。校舎を綺麗に保つ仕事を通して、皆さんと関わったことをとても嬉しく思います。これからは元気に挨拶をして、学校を大切にしてください。皆さんのこれからの成長を心から願っています。本当にありがとうございました。

○**新年度の始業式・着任式・入学式は4月6日（月）です。**

○**在校生の登校時刻は通常通り8：10～8：25、始業式・着任式、入学式に参加した後、11：40頃下校予定です。**

第42回卒業式

3月19日（木）に望洋台小学校第42回卒業式を挙行いたしました。36名の卒業生が未来への希望を抱き、巣立っていきました。当日は、小樽市教育委員会 教育部次長 山澤 亮司様、望洋台地区学校運営協議会長 勝俣 信俊様をはじめとする来賓の方々にもご参加していただきました。

卒業生一人一人が堂々と卒業証書を受け取る姿を在校生が真剣な眼差しで見守り、入退場時にはお世話になった卒業生へ大きな拍手を送るなど、大変温かな雰囲気の中で卒業式となりました。